

結 果 の 概 要

1 就業保健師・助産師・看護師・准看護師

(1) 就業保健師等数の年次推移

平成22年末現在の就業保健師（以下「保健師」という。）は45,028人（男582人、女44,446人）で、前回（平成20年）に比べ1,582人（3.6%）増加している。

就業助産師（以下「助産師」という。）は29,672人で、前回に比べ1,883人（6.8%）増加している。

就業看護師（以下「看護師」という。）は952,723人（男53,748人、女898,975人）で、前回に比べ75,541人（8.6%）増加している。

就業准看護師（以下「准看護師」という。）は368,148人（男23,196人、女344,952人）で、前回に比べ6,894人（1.8%）減少している。（表1）

表1 就業保健師等数の年次推移

（単位：人）

各年末現在

	平成12年 (2000)	14年 (’02)	16年 (’04)	18年 (’06)	20年 (’08)	22年 (’10)	対平成20年	
							増減数	増減率(%)
保健師	36 781 (100.0)	38 366 (100.0)	39 195 (100.0)	40 191 (100.0)	43 446 (100.0)	45 028 (100.0)	1 582	3.6
男	148 (0.4)	189 (0.5)	281 (0.7)	341 (0.8)	447 (1.0)	582 (1.3)	135	30.2
女	36 633 (99.6)	38 177 (99.5)	38 914 (99.3)	39 850 (99.2)	42 999 (99.0)	44 446 (98.7)	1 447	3.4
助産師 ¹⁾	24 511	24 340	25 257	25 775	27 789	29 672	1 883	6.8
看護師	653 617 (100.0)	703 913 (100.0)	760 221 (100.0)	811 972 (100.0)	877 182 (100.0)	952 723 (100.0)	75 541	8.6
男	22 189 (3.4)	26 160 (3.7)	31 594 (4.2)	38 028 (4.7)	44 884 (5.1)	53 748 (5.6)	8 864	19.7
女	631 428 (96.6)	677 753 (96.3)	728 627 (95.8)	773 944 (95.3)	832 298 (94.9)	898 975 (94.4)	66 677	8.0
准看護師	388 851 (100.0)	393 413 (100.0)	385 960 (100.0)	382 149 (100.0)	375 042 (100.0)	368 148 (100.0)	△6 894	△ 1.8
男	21 269 (5.5)	22 726 (5.8)	22 838 (5.9)	23 462 (6.1)	23 268 (6.2)	23 196 (6.3)	△ 72	△ 0.3
女	367 582 (94.5)	370 687 (94.2)	363 122 (94.1)	358 687 (93.9)	351 774 (93.8)	344 952 (93.7)	△6 822	△ 1.9
人口10万対								
保健師	29.0	30.1	30.7	31.5	34.0	35.2		
男	0.1	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5		
女	28.9	30.0	30.5	31.2	33.7	34.7		
助産師 ¹⁾	19.3	19.1	19.8	20.2	21.8	23.2		
看護師	515.0	552.4	595.4	635.5	687.0	744.0		
男	17.5	20.5	24.7	29.8	35.2	42.0		
女	497.5	531.8	570.6	605.7	651.8	702.0		
准看護師	306.4	308.7	302.3	299.1	293.7	287.5		
男	16.8	17.8	17.9	18.4	18.2	18.1		
女	289.6	290.9	284.4	280.7	275.5	269.4		

注：1) 「助産師」は、女のみ。

(2) 就業場所別にみた就業保健師等数

就業場所別に実人員をみると、保健師は「市町村」が25,502人（構成割合56.6%）と最も多くなっている。助産師、看護師及び准看護師は「病院」が最も多く、それぞれ19,068人（64.3%）、706,279人（74.1%）、170,576人（46.3%）となっている。

常勤換算数をみると、保健師は「市町村」が24,041.5人（56.4%）と最も多くなっている。助産師、看護師及び准看護師は「病院」が最も多く、それぞれ18,400.4人（67.7%）、682,167.6人（77.1%）、159,579.6人（48.6%）となっている。（表2）

表2 就業場所別にみた就業保健師等数（実人員・常勤換算）

平成22年末現在

	保健師		助産師		看護師		准看護師	
	実人員	常勤換算	実人員	常勤換算	実人員	常勤換算	実人員	常勤換算
	実人員・常勤換算（人）							
総数	45 028	42 632.3	29 672	27 195.0	952 723	884 583.6	368 148	328 242.1
病院	2 791	2 687.1	19 068	18 400.4	706 279	682 167.6	170 576	159 579.6
診療所	1 497	1 402.4	6 379	5 380.5	118 576	94 900.6	120 680	102 367.9
助産所	1	1.0	1 789	1 630.0	104	80.7	32	22.0
訪問看護ステーション	268	238.5	7	5.2	27 210	22 317.7	2 816	2 233.3
介護保険施設等 ¹⁾	447	421.4	²⁾ ...	²⁾ ...	55 505	46 514.0	60 637	52 864.1
社会福祉施設	417	394.6	14	12.2	11 872	10 259.9	8 246	7 226.3
保健所	7 131	6 891.8	266	134.8	1 012	531.1	92	44.4
市町村	25 502	24 041.5	722	305.9	6 981	4 411.7	1 519	934.8
事業所	3 532	3 334.1	24	19.9	6 058	5 396.6	1 635	1 387.3
看護師等学校養成所 又は研究機関	1 075	1 040.1	1 298	1 242.9	13 546	13 142.2	24	19.1
その他	2 367	2 179.8	105	63.2	5 580	4 861.5	1 891	1 563.3
	構 成 割 合（%）							
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
病院	6.2	6.3	64.3	67.7	74.1	77.1	46.3	48.6
診療所	3.3	3.3	21.5	19.8	12.4	10.7	32.8	31.2
助産所	0.0	0.0	6.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0
訪問看護ステーション	0.6	0.6	0.0	0.0	2.9	2.5	0.8	0.7
介護保険施設等 ¹⁾	1.0	1.0	²⁾ ...	²⁾ ...	5.8	5.3	16.5	16.1
社会福祉施設	0.9	0.9	0.0	0.0	1.2	1.2	2.2	2.2
保健所	15.8	16.2	0.9	0.5	0.1	0.1	0.0	0.0
市町村	56.6	56.4	2.4	1.1	0.7	0.5	0.4	0.3
事業所	7.8	7.8	0.1	0.1	0.6	0.6	0.4	0.4
看護師等学校養成所 又は研究機関	2.4	2.4	4.4	4.6	1.4	1.5	0.0	0.0
その他	5.3	5.1	0.4	0.2	0.6	0.5	0.5	0.5

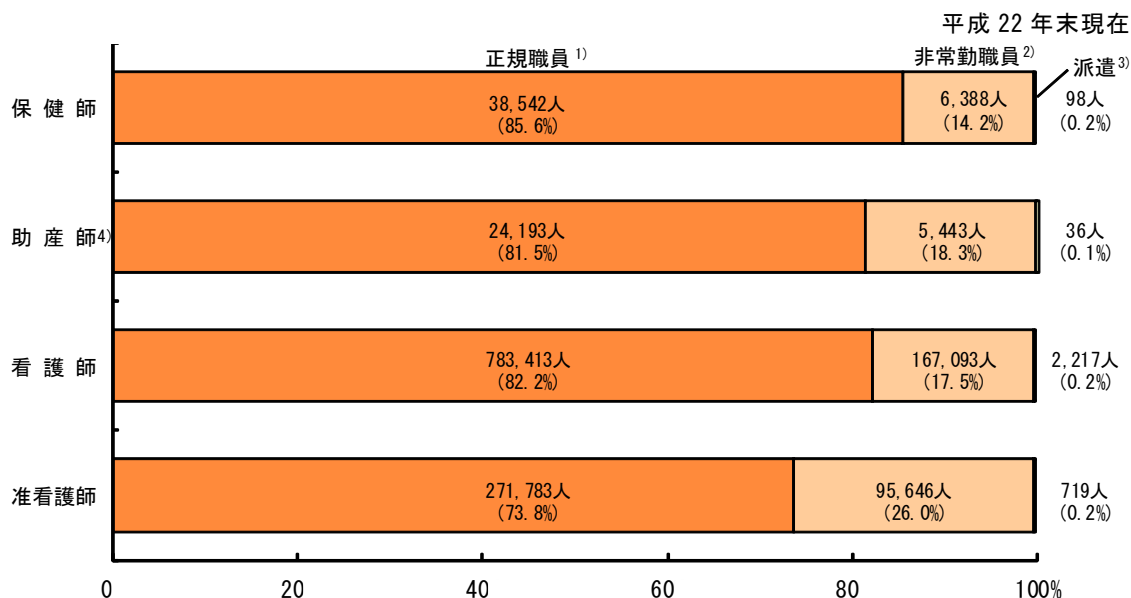
注：1)「介護保険施設等」とは、「介護老人保健施設」、「指定介護老人福祉施設」、「居宅サービス事業所」及び「居宅介護支援事業所」をいう。

2)「助産師」は、「介護保険施設等」を項目として把握していない。

(3) 雇用形態別にみた就業保健師等数

雇用形態別にみると、保健師、助産師、看護師及び准看護師のいずれも「正規職員」が最も多く、保健師は 38,542 人（構成割合 85.6%）、助産師は 24,193 人（81.5%）、看護師は 783,413 人（82.2%）、准看護師は 271,783 人（73.8%）となっている（図 1）。

図 1 雇用形態別にみた就業保健師等数



注：1) 「正規職員」とは、施設が直接雇い入れた者であって、施設が定めた所定労働時間をすべて勤務する者であり、契約期間が限定されていない者をいう。

2) 「非常勤職員」とは、名称に係わらず、「正規職員」「派遣」に該当しない者をいう。

3) 「派遣」とは、派遣会社から派遣されている者をいう。

4) 「助産師」は、助産所開設者を含む。

(4) 年齢階級別にみた就業保健師等数

年齢階級別にみると、保健師及び看護師は「30～34 歳」が最も多く、保健師は 7,270 人（構成割合 16.1%）、看護師は 155,066 人（16.3%）となっている。一方、助産師は「25～29 歳」4,976 人（16.8%）、准看護師は「45～49 歳」56,629 人（15.4%）が最も多くなっている。（表 3）

表 3 年齢階級別にみた就業保健師等数

平成 22 年末現在

	保健師		助産師		看護師		准看護師	
	実人員(人)	構成割合(%)	実人員(人)	構成割合(%)	実人員(人)	構成割合(%)	実人員(人)	構成割合(%)
総数	45 028	100.0	29 672	100.0	952 723	100.0	368 148	100.0
25歳未満	1 767	3.9	1 918	6.5	86 512	9.1	12 538	3.4
25～29歳	6 186	13.7	4 976	16.8	145 557	15.3	21 831	5.9
30～34	7 270	16.1	4 547	15.3	155 066	16.3	34 564	9.4
35～39	6 774	15.0	4 542	15.3	147 573	15.5	40 910	11.1
40～44	6 526	14.5	4 148	14.0	129 323	13.6	48 673	13.2
45～49	6 264	13.9	3 569	12.0	111 320	11.7	56 629	15.4
50～54	4 972	11.0	2 661	9.0	86 751	9.1	56 115	15.2
55～59	3 437	7.6	1 690	5.7	56 705	6.0	49 412	13.4
60歳以上	1 832	4.1	1 621	5.5	33 916	3.6	47 476	12.9

(5) 都道府県別にみた人口10万対就業保健師等数

都道府県別に人口10万対保健師数をみると、「山梨県」が64.0人と最も多く、次いで「福井県」、「長野県」及び「島根県」が61.9人となっている。一方、「神奈川県」及び「大阪府」が21.0人と最も少なく、次いで「埼玉県」が23.2人となっている。(図2)

人口10万対助産師数をみると、「新潟県」及び「鳥取県」が32.1人と最も多く、次いで「富山県」が31.8人となっている。一方、「三重県」が16.0人と最も少なく、次いで「埼玉県」が16.4人、「茨城県」及び「千葉県」が18.0人となっている。(図3)

図2 人口10万対就業保健師数
平成22年末現在

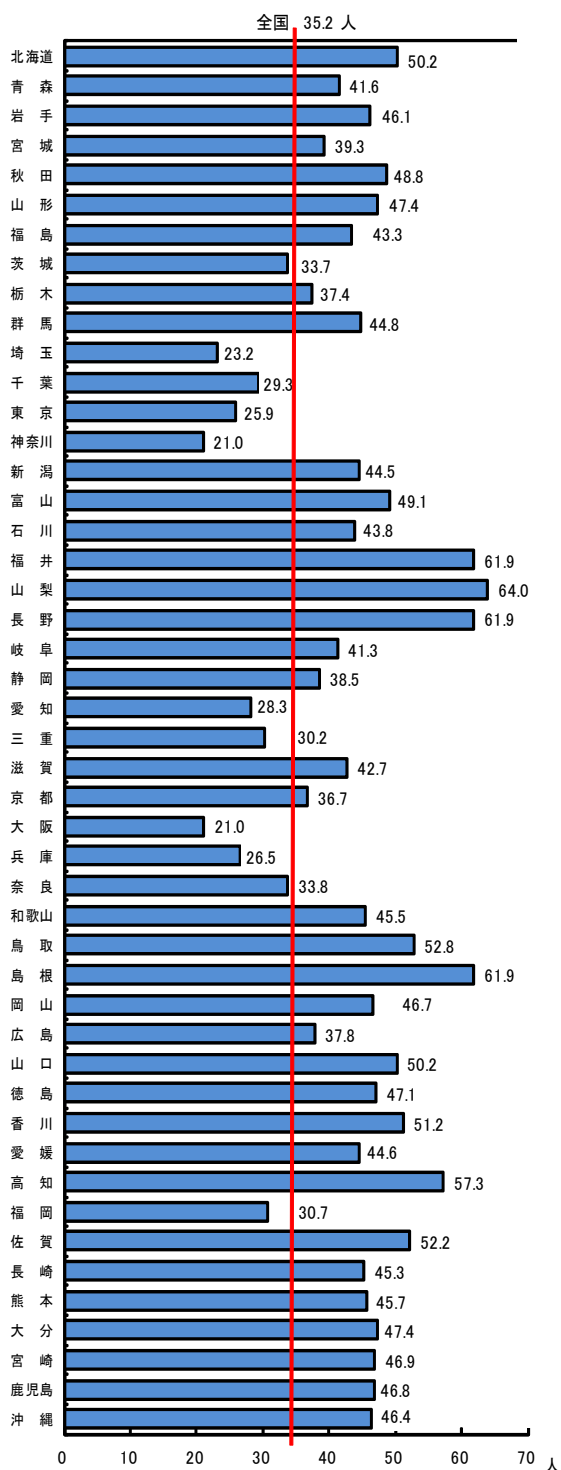
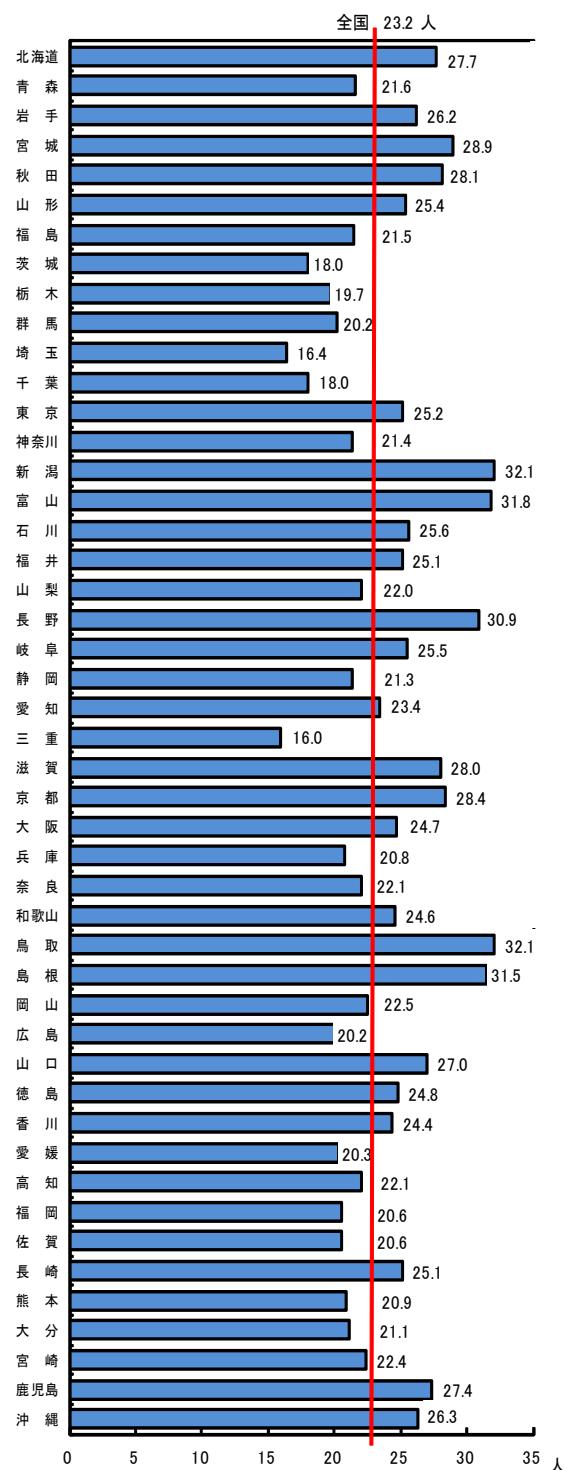


図3 人口10万対就業助産師数
平成22年末現在



人口10万対看護師数をみると、「高知県」が1,114.8人と最も多く、次いで「鹿児島県」が1,050.2人、「長崎県」が1,040.1人となっている。一方、「埼玉県」が486.9人と最も少なく、次いで「千葉県」が523.7人、「神奈川県」が569.2人となっている。（図4）

人口10万対准看護師数をみると、「鹿児島県」が629.7人と最も多く、次いで「宮崎県」が601.0人、「長崎県」が592.2人となっている。一方、「神奈川県」が125.3人と最も少なく、次いで「東京都」が127.8人、「滋賀県」が152.8人となっている。（図5）

図4 人口10万対就業看護師数
平成22年末現在

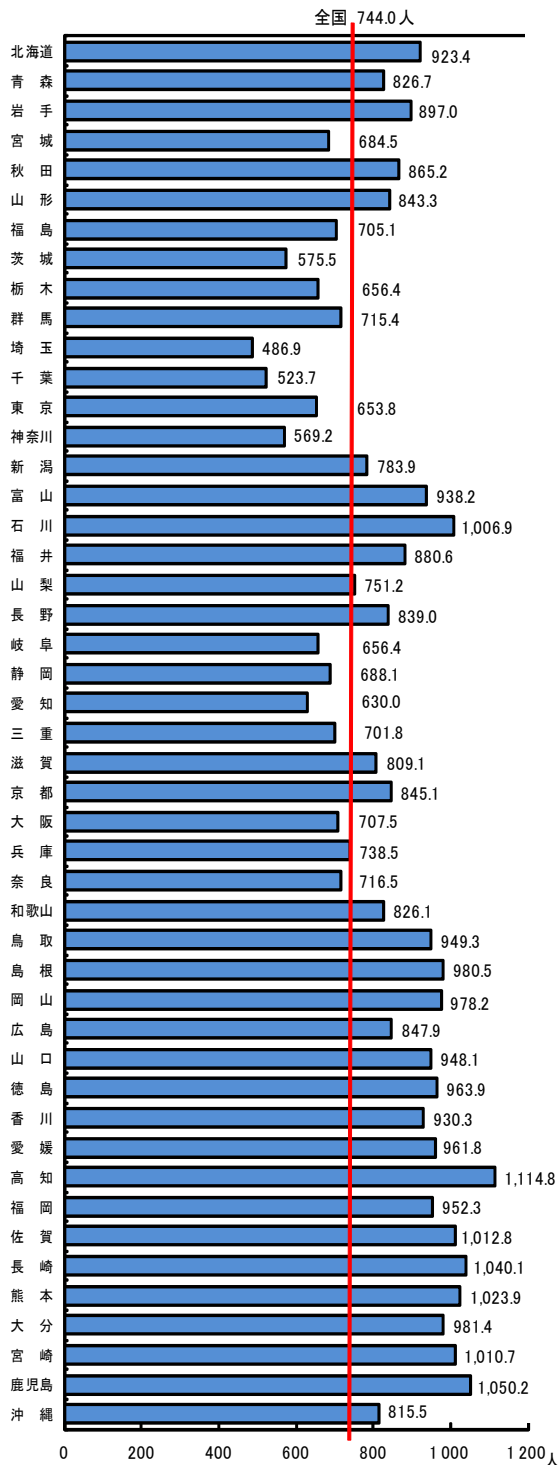


図5 人口10万対就業准看護師数
平成22年末現在

